



# 令和2年度 労働安全衛生大会

令和2年10月9日（金）



公益社団法人 東京ビルメンテナンス協会

# 令和2年度 労働安全衛生大会

令和2年10月9日(金)

14:00~16:00

ビルメンテナンス会館2階（3階映像視聴）

## 次 第

(1) 開会のあいさつ 会 長 佐々木 浩二

(2) 労働安全衛生標語入選者表彰

(3) 労働災害・無災害企業会員表彰

(4) ヒヤリ・ハット活動報告入選者表彰

(5) 来賓挨拶

東京労働局 労働基準部安全課長 山崎 琢也 様

中央労働災害防止協会 理事長 八牧 暢行 様

(6) 講演 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」

東京労働局労働基準部 専門官 武知 正文 様

(7) 大会宣言 労務管理委員会 委員長 島田 四郎

(8) 閉会のことば 副会長 梶山 龍誠

令和2年度  
労働安全衛生標語 入選者

賞	標 語	会社名 氏 名
金	大きな事故の小さな予兆 皆で摘み取り即改善 声掛け合って危険回避	株式会社オリバー 鈴木 晃
銀	言ったはず・伝えたはずがミスのもと 防ぐ基本は「報連相」	東京ガスファシリティサービス株式会社 川畑 政信
銀	私のヒヤリと仲間のヒヤリ 意見を出し合い 0災害	株式会社ハリ マビシステム 渡辺 徹二
銅	早くやるより正確に！焦ってやるより確実に！ゆとりを持って安全作業	株式会社ジャレック 木村 浩
銅	ディスタンス 保ちながらも視線は密に 見落とし防いで 今日も安全	綜通アメニティサービス株式会社 東 郁子
銅	危険は無いか その作業 見逃し無いか その手順 安全対策に妥協なし	大星ビル管理株式会社 滋賀 信廣
佳作	危ないと 気付いた人が責任者 止める勇気に 事故はなし！	株式会社関東コーワ 土賀 喜美子
佳作	一呼吸 大事な時こそ 急がば回れ 心のゆとりで ゼロ災職場	株式会社ケントク東京本部 新垣 雪
佳作	小さなヒヤリは危険の合図 今すぐ改善 無事故職場	興和ビルメンテナンス株式会社 福原 譲治
佳作	見慣れてる 視線の先に事故潜む 緊張忘れず安全作業	日本クリーン株式会社 小野 新

（各賞会社名五十音順 敬称略）

令和2年度  
労働災害・無災害企業 会員

賞	会社名
10年間無災害	株式会社ダイヤビルメンテナンス
10年間無災害	日高産業株式会社
7年間無災害	朝日ビル管財株式会社
7年間無災害	株式会社五洲管財
5年間無災害	興洋ビルメンテ株式会社
5年間無災害	株式会社坂本商会
5年間無災害	株式会社東京管理
3年間無災害	技建開発株式会社
3年間無災害	サンブリヂビルテクノ株式会社
3年間無災害	東京コニックス株式会社

(各賞会社名五十音順 敬称略)

令和2年度  
ヒヤリ・ハット活動報告 入選者

賞	No.	会社名	氏名
優秀賞	1	株式会社小田急ビルサービス	関 義朗
	2	株式会社ケントク東京本部	矢吹 由美
	3	株式会社サンシン	石井 朋成
	4	株式会社サンシン	武藤 雅史
	5	株式会社ジャレック	岡島 正幸
	6	綜通アメニティサービス株式会社	岩間 裕昭
	7	東京海上日動ファシリティーズ株式会社	遠藤 淳一
	8	株式会社西・サービス	大河内 孝将
	9	株式会社ビケンテクノ	嶋田 隆幸
	10	株式会社ビケンテクノ	永井 均
	11	平成ビルディング株式会社	長谷川 淳
	12	三井物産フォーサイト 株式会社	小杉 将平 熊倉 雅昭
	13	三井物産フォーサイト 株式会社	木村 俊仁

( 会社名五十音順 敬称略)

# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	株式会社小田急ビルサービス	氏名 (敬称略)	関 義朗
活動テーマ	ながら作業で、ヒヤリ		

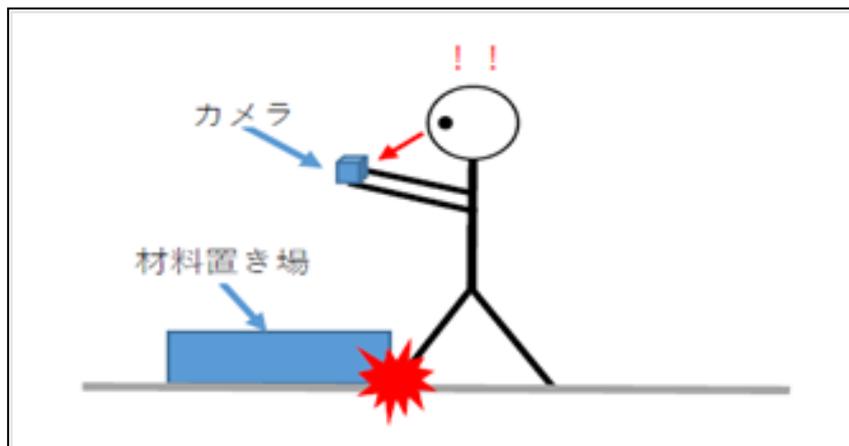
## 1. ヒヤリ・ハットの状況？

工事現場でデジカメで写真を撮り、現場内を写真データを確認しながら歩いていて、材料置き場に気がつかず、床置き材料を踏みつけそうになり、ヒヤッとした。

## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

写真データの確認は、現場を歩きながらではなく、安全なところに移動してから、立ち止まって確認するようにする。

(スマートフォンも同様の取り扱いとする)



# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	株式会社ケントク東京本部	氏名 (敬称略)	矢吹 由美
活動テーマ	はさまれ		

## 1. ヒヤリ・ハットの状況？

倉庫のドアを開けて荷物の出し入れ中、強風でドアがいきなり締まり挟まれそうになった。

## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

荷物の出し入れ作業を行う時は、ドアストッパーで扉を固定して安全に気を付けて行うようにする。



# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	株式会社サンシン	氏名 (敬称略)	石井 朋成
活動テーマ	ブランコ作業中の窓の開閉		

## 1. ヒヤリ・ハットの状況？

ブランコ作業中、着地して上を見たら排煙窓が開いていて、アルミサッシの鋭利な角がロープに触れていた。

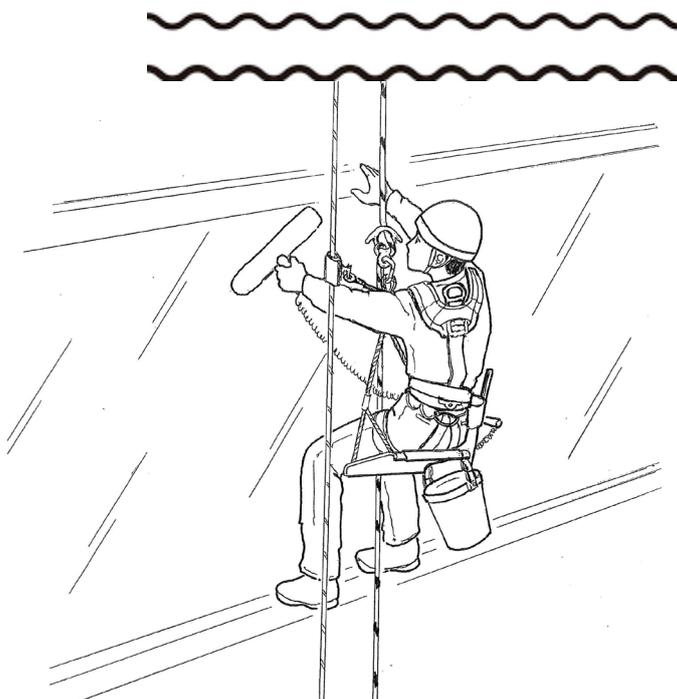
## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

ブランコ作業中は、ビル内の方に窓を開けないように連絡する。または、ビルの管理の方に連絡をしていただく。



排煙窓の角の部分がロープに触れており、とても危険であった。

事前に事務所にロープ作業がある事を連絡して排煙窓を開放しないようにする。



# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	株式会社サンシン	氏名 (敬称略)	武藤 雅史
活動テーマ	ロープガラス清掃		

## 1. ヒヤリ・ハットの状況？

ロープの作業準備中、ロープを垂らしていた。  
屋上からバリケード、歩行者の状況確認の為、下を見ていたら、ロープの末端まで来て落としそうになった。

## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

ロープを垂らす際は、必ず末端を何かに縛るようにした。

ロープ作業を準備する際は、必ずロープの末端をフック、リング等の取付設備に縛りロープの落下を防ぐようにする。



# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	株式会社ジャレック	氏名 (敬称略)	岡島 正幸
活動テーマ	手押し台車の安全対策		

## 1. ヒヤリ・ハットの状況？

職場内で作業準備中に台車へ荷物を積み込む際に、台車に荷物があたり台車が勝手に動いてしまい、人や製品に当たりそうになり、ヒヤリとしたことがある。

## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

【改善前】 図1のように台車へ積み込み時、荷物が台車へ当たってしまうと、その反動により台車が動き、図2のように人への怪我や設備損傷に繋がる可能性がある。



図1



図2

【改善後】 台車にストッパーを付けることにより、停止時に台車が動かないよう改善した。これにより、作業準備時や作業時の思わぬ接触による台車の動きを防ぐ。またお客様職場内に台車を持ち込み作業することもあり、その際お客様が接触してしまう可能性もあり、そのような場合の怪我や設備・製品の損傷も防ぐことに繋がる。



ストッパー稼働前



ストッパー稼働後

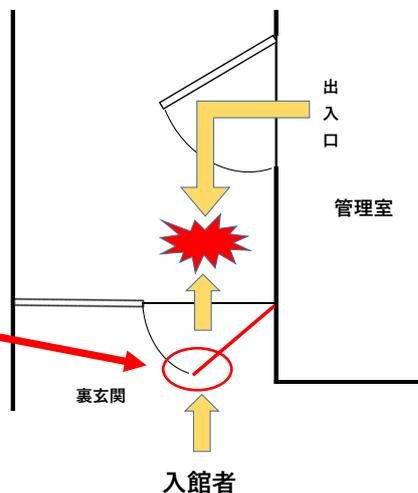
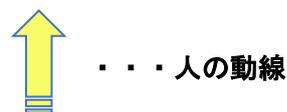
# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	綜通アメニティサービス株式会社	氏名 (敬称略)	岩間 裕昭
活動テーマ	管理室出入口と入館者との衝突リスク軽減		

## 1. ヒヤリ・ハットの状況？

裏玄関の観音扉の右側（図の赤扉）に入館の案内「引く」（写真赤丸）が貼られている事で、入館者は右側扉を開けることが多く、結果として管理室から退出する人との衝突リスクが発生する。

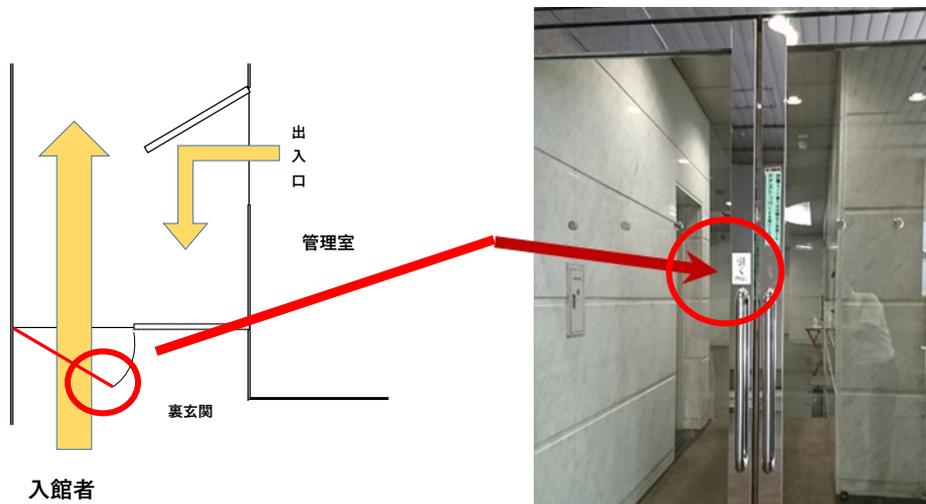
（※図中  箇所）



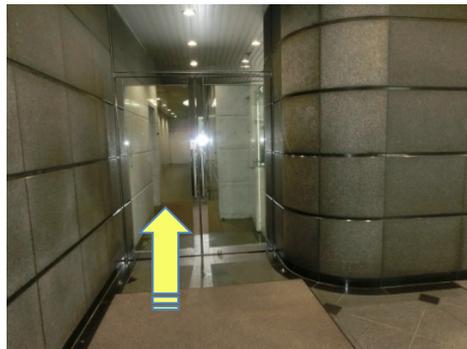
↑ . . . 写真撮影方向

## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

入館の案内「引く」を左側の扉（図及び写真の赤○）に移動させたことにより、入館者は左側扉を開けることが多くなり、壁側（管理室出入口向い側）へ誘導することに成功。衝突リスクの軽減につながった。



・ 対策後の入館者の動線



# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

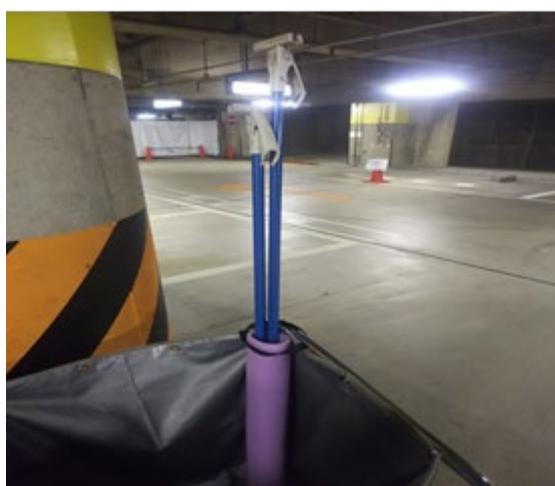
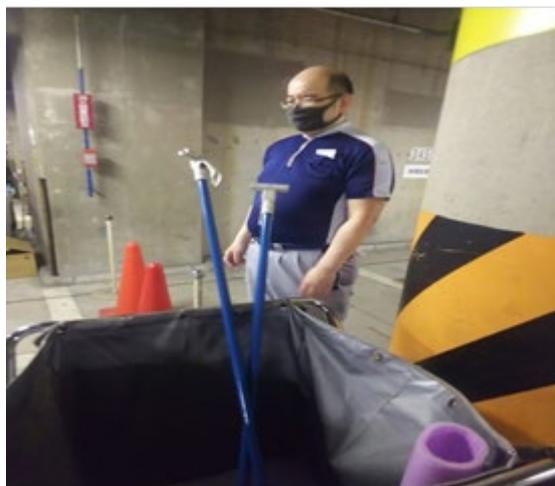
会社名	東京海上日動ファシリティーズ株式会社	氏名 (敬称略)	遠藤 淳一
活動テーマ	移動時の安全性向上と見た目の快適さ		

## 1. ヒヤリ・ハットの状況？

出会い頭の事故で曲がり角の先が見えない。

## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

筒の中に柄を入れまとめることによりカートからはみ出さなく、安全に運搬できる。



# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	株式会社西・サービス	氏名 (敬称略)	大河内 孝将 (責任者) 富田 嵐 (担当者)
活動テーマ	受水槽・汚水槽点検時対策		

## 1. ヒヤリ・ハットの状況？

受水槽・汚水槽などの点検を行う際に、マンホールを開放して行うが、通行人に落下の危険が考えられる。

## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

作業を行う時は囲いを必ず使用して、作業を行っている周知をするのと、人を配置し落下の危険を限りなくなくせる様に改善した。

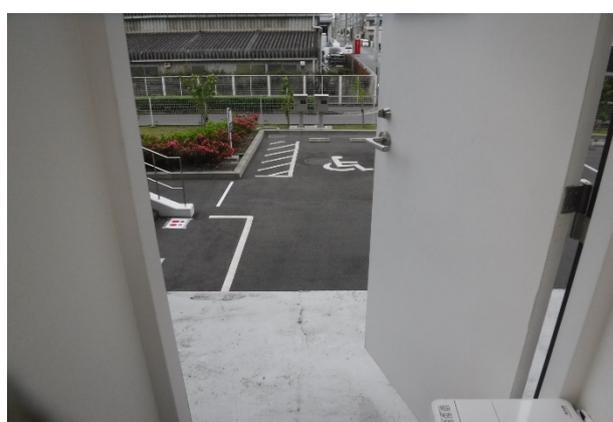


# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	株式会社ビケンテクノ	氏名 (敬称略)	嶋田 隆幸
活動テーマ	落下・転倒		

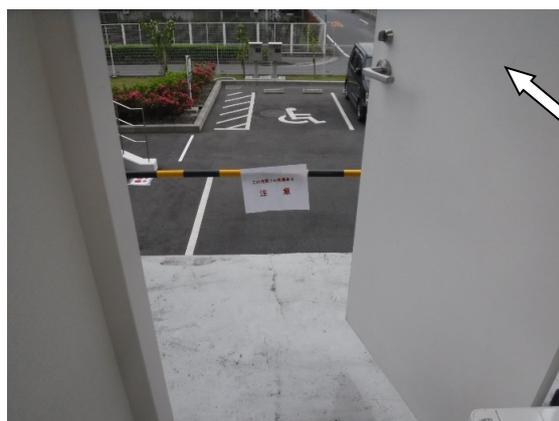
## 1. ヒヤリ・ハットの状況？

外部蓄電池の設置場所や設備監視室の扉が危険な位置にあり、点検に行く際、扉を開け外へ出るときに誤って落下、転倒してしまう。



## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

出口側に落下の危険注意喚起の表示、ポールを設置し退出時、気を付けるとともに、室内外にも転落注意の掲示をして転落防止を図った。



ドア開放注意



転落危険あり

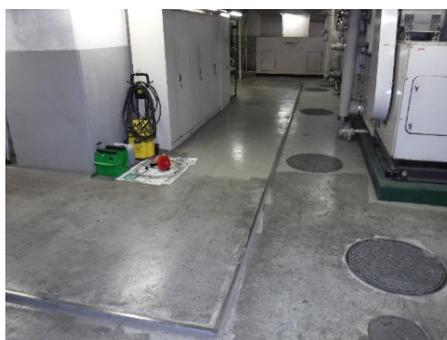
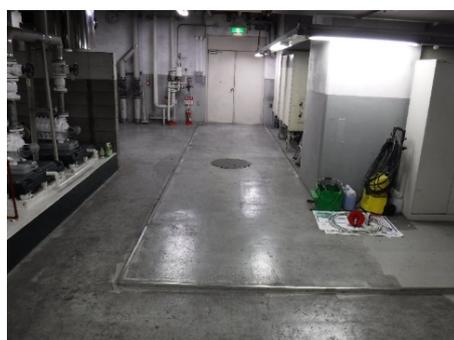


# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	株式会社ビケンテクノ	氏名 (敬称略)	永井 均
活動テーマ	段差にヒヤリ		

## 1. ヒヤリ・ハットの状況？

地下2階の設備機械室ですが、通路が床面より5cm嵩上げされており、周囲と色調が同じです。このため作業時のつまずき、バランスを失う、転倒などの危険を危惧しました。



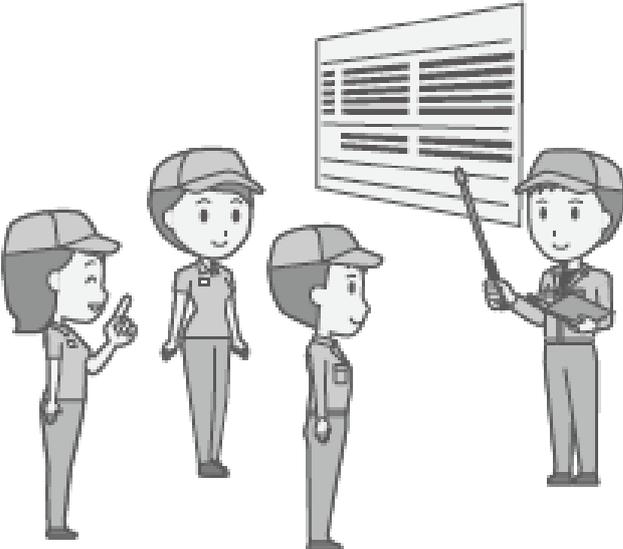
段差

## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

コの字型の通路全体で端部にトラテープを、入口と角に標識を貼り、注意喚起を行いました。



## ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	平成ビルディング株式会社	氏名 (敬称略)	長谷川 淳
活動テーマ	(清掃) 仕様変更時の対応について		
1. ヒヤリ・ハットの状況？			
<p>日常清掃の仕様変更時、清掃実施エリアが、清掃未実施であった。 (営業担当者は、仕様変更を正確に把握していたが、口頭で作業員に支持を行った際に誤った内容を伝えたもの)</p>			
2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善(対応策)をしましたか？			
<p>前述の事象以降、清掃等仕様変更の際には下記を行うこととした。</p> <p>① 仕様変更時には、「作業内容を記載した手順書」を作成し、書面にて作業員全員に周知すること。 ② 変更後の初回作業日には、原則立ち会うこととした。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>			
<h1>手順書 + 立会い</h1> 			

# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	三井物産フォーサイト株式会社	氏名 (敬称略)	小杉 将平 熊倉 雅昭
活動テーマ	ドア開閉時の事故予防		

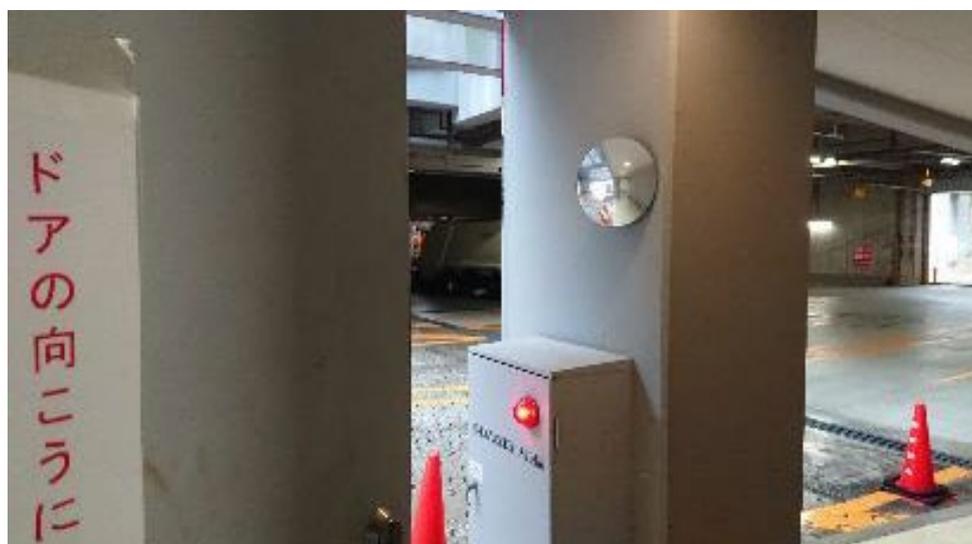
## 1. ヒヤリ・ハットの状況？

扉の開閉時に歩行者と接触する可能性がある。  
扉を開けると扉側が死角となり、歩行者と接触してしまう可能性が高い



## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

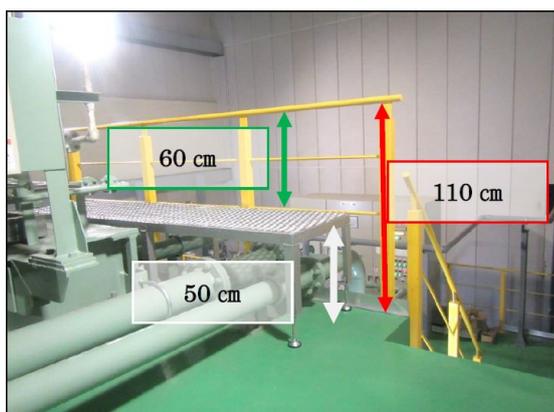
柱にミラーを設置したことにより、扉を開けた際の死角が見えるようになり、歩行者との接触の可能性が減った。



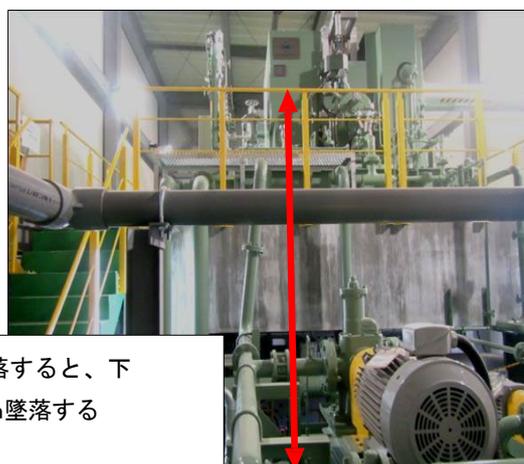
# ヒヤリ・ハット活動報告 入選作

会社名	三井物産フォーサイト株式会社	氏名 (敬称略)	木村 俊仁
活動テーマ	点検作業床からの転落防止対策		

## 1. ヒヤリ・ハットの状況？



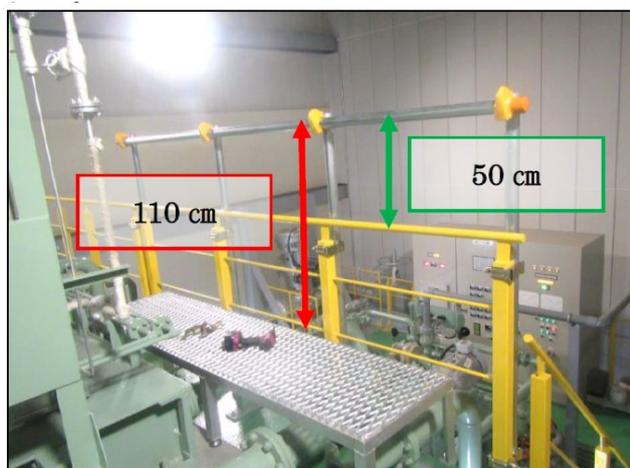
点検時の足元不安定を改善するため、対策として高さ 50 cmの作業床を設置したが、既存の手摺（110 cm）では有効高さが 60 cmと浅くなってしまい、新たに転落のリスクが発生した。



架台から転落すると、下の階まで 3m墜落する

## 2. ヒヤリ・ハットの再発を防ぐためにどのような改善（対応策）をしましたか？

足場用単管と単管クランプを購入し、既存の手摺上に 50 cm嵩上げを行い、110 cmの手摺として転落防止を図った。



## 1 ビルメンテナンス業界における労働災害及び労災保険収支率の現状と推移

表1 ビルメンテナンス業における労働者数及び労災保険新規受給者数の推移

(単位：人、%)

区 分		平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
全 国	労働者数	1,065,695	1,076,925	1,098,967	1,118,929	1,130,729	1,137,151
	新規受給	9,537	10,069	10,040	10,242	10,832	11,831
	割 合	0.89	0.93	0.91	0.92	0.96	1.04
東 京 地 区	労働者数	330,684	334,948	344,408	360,928	356,887	362,289
	新規受給	2,144	2,306	2,276	2,338	2,530	2,710
	割 合	0.65	0.69	0.66	0.65	0.71	0.75

表2 事故の型別死傷者数(死亡及び休業4日以上)

(平成30年)

区分	転倒	墜落 転落	動作 の反 動	挟ま れ巻 き込 まれ	激突	飛来 落下	切れ こす れ	激突 され	崩壊 倒壊	交通 事故	その 他	合計
人	1,705	656	370	203	200	54	58	78	25	85	103	3,537
構成 %	48.2	18.5	10.5	5.7	5.7	1.5	1.6	2.2	0.7	2.4	2.9	100.0

表3 起因物別死傷者数(休業4日以上)

(平成30年)

区 分	動力 機械	物上げ 運 搬 機 械	その他 の装置	仮設物 建築物 構築物	物質 材料	荷	環境	その他	合計
人	42	180	696	1,984	77	107	165	286	3,537
構成%	1.2	5.1	19.7	56.1	2.2	3.0	4.7	8.1	100.0

表4 年齢階級別死傷者数(休業4日以上)

(平成30年)

区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60才以上	合計
人	18	114	208	342	643	2,212	3,537
構成%	0.5	3.2	5.9	9.7	18.2	62.5	100.0

表5 年齢階層別従業員数

単位：人(%)

	人数	比率
25歳未満	5.9	4.0
25～34歳	15.1	10.3
35～54歳	52.4	35.6
55～59歳	18.8	12.8
60～64歳	22.9	15.6
65～69歳	19.0	12.9
70歳以上	9.5	6.5
	3.6	2.4
合計	147.2	100.0

(注1)ビルメンテナンス情報年鑑2020による(2019年度時点)。

表6 雇用形態別平均従業員数

単位：人(%)

	平成29年	平成30年	2019年度
常勤従業員	120.8(34.3)	150.0(40.6)	147.2(40.2)
パートタイマー	217.6(61.7)	219.9(59.4)	219.2(59.8)
臨時・アルバイト	14.1(4.0)	(0.0)	
合計	352.5(100.0)	369.9(100.0)	366.4(100.0)

(注1)ビルメンテナンス情報年鑑2020による(2019年度時点)。

表7 労災保険収支率の年度別推移

(年度：%)

区 分	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
全国合計	122.3	124.1	116.8	114.4	112.9	119.3
東京地区	65.7	71.2	65.7	61.7	62.7	64.0
保険率	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5

表8 労災保険収納率の年度別推移

(年度：%)

区 分	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
全国合計	96.0	96.7	97.2	97.6	97.9	98.2
東京地区	97.6	97.8	98.4	98.6	98.7	98.8